

学生チャレンジ企画 実施報告書

2015年度 第6回



初めてのチャレンジ! 今年こそチャレンジ!

2016年度 第7回 学生チャレンジ企画

社会や地域貢献、国際交流、大学の活性化、ボランティアなど、学生の取り組みを大学が応援し、サポートする制度です。

- **募集期間**: 4月末～6月
- **応募資格**: 本学に在籍する学生(大学院生、留学生別科生含む)のグループ
- **採用**: 6件程度を予定(企画に応じて奨励金が支給されます)

※応募方法などの詳細は4月下旬にホームページにて発表します。

主催: 総合企画部 学生生活部

お問い合わせ先

文京キャンパス 広報室

TEL.03-3947-7160

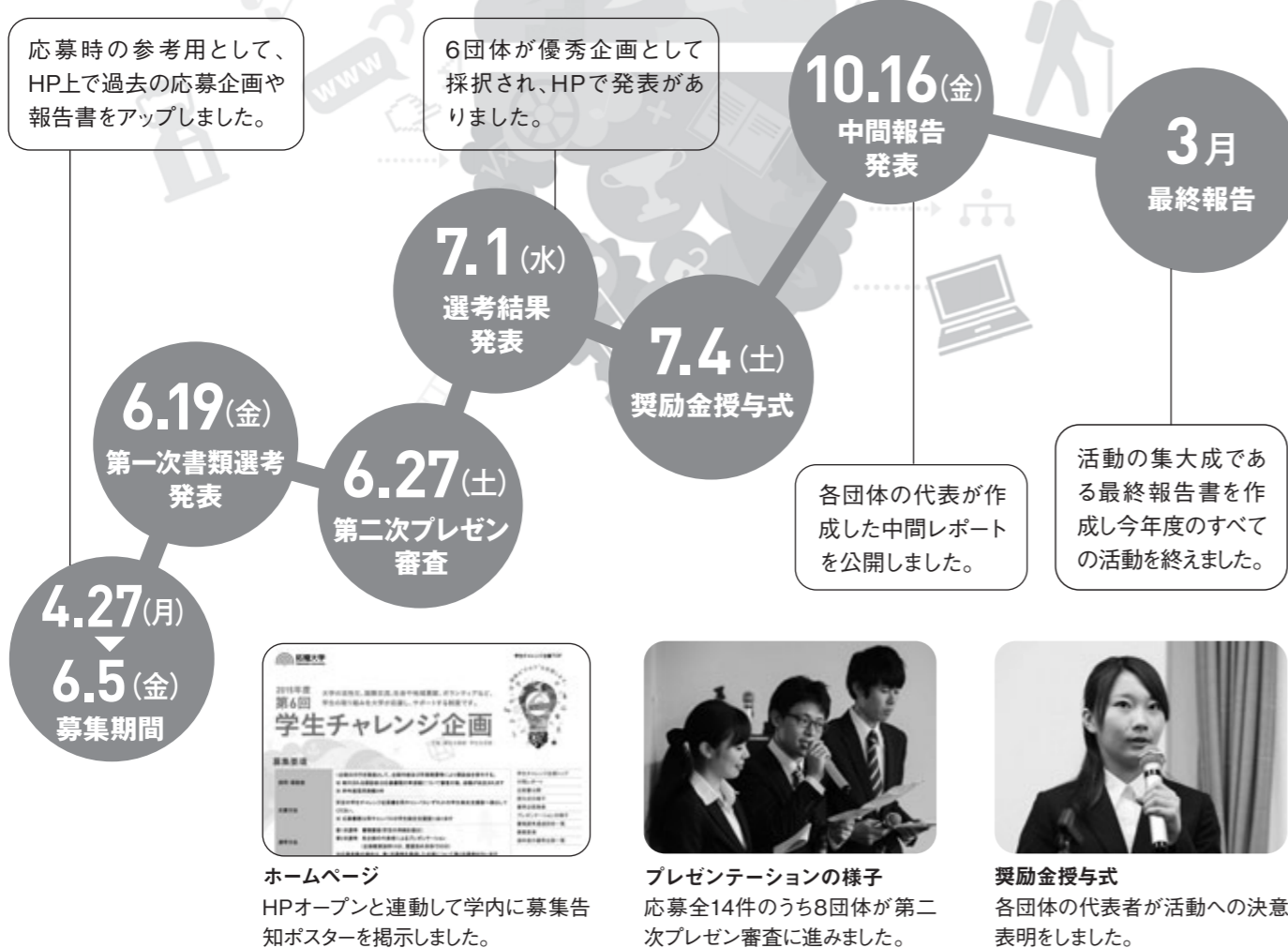
E-Mail: web_pub@ofc.takushoku-u.ac.jp



学生チャレンジ企画は創立110周年を記念して、2010年にスタートしました。
 この取り組みは社会貢献、国際交流、大学の活性化などにつながる活動を積極的にしている学生をサポートするものです。
 第6回となる2015年度は、14件の応募があり、書類選考、そしてプレゼンテーション選考の結果、6件の企画が優秀企画に選ばれました。

この最終報告書は、採択された企画を実施した学生たちの約1年間にわたる活動の集大成です。ぜひ、拓大生のチャレンジ精神に触れてみてください。

スケジュール



講評

学生チャレンジ企画を終えて



拓殖大学副学長
学生チャレンジ企画
実行委員長

芦田 誠



学生チャレンジ企画は、福祉環境、地域活動、ボランティア、国際交流における学生の活動を支援するため、拓殖大学創立110周年記念事業の一環として2010年にスタートし、以後毎年多くの取り組みが行われてきました。

2015年度は14件の応募があり、第1次書類審査とプレゼンテーションの第2次選考を経て、最終的に6件のプロジェクトが採択されました。勝ち残った6企画は必要経費によって7~22万円と奨励金に差がつかしましたが、内容もすばらしい遺産を引き継いだ企画から着想が非常にユニークなものまでバラエティに富んでおり、いずれも成果が期待されるものばかりです。

本報告書は、今年度採択された6企画のPDCAサイクルを示したものです。まず注目されるのが成果です。6件の成果発表をみる限り、「私たちの寸劇が防止活動につながっていることが実感できました」、「新たな交流が広がるとともに日本の歴史をさらに学びたい」、「高校生が政治や選挙について興味を持ってくれたことが何よりの成果です」、「昨年度以上の売り上げを達成することができました」、「大学の香りという新しい試みによって拓殖大学をアピールすることができました」、「たくさんの方に楽しんでもらい、意見をいただきました」など、いずれもポジティブに自己評価されており、プロジェクトの目的は達成されたと判断します。精力的に活動された学生の皆さん、本当にご苦労様でした。この体験が必ずや皆さんの将来にとって貴重な

財産になっていくものと確信いたします。

いま一つ、メンバーの反省点も注目されます。チームワーク、PR方法、スケジュール調整、トレーニング、販売予測の難しさ、取り組みの意義の理解不足などの反省点が指摘されています。

「失敗しない者は、つねに何事もなしえない」と語ったのはアメリカの国際法学者フェルプスです。失敗を恐れずアクションを起こすことが重要で、たとえ結果がパーフェクトでなくとも実体験から学ぶことは多いと考えます。例えば、情報の共有、コミュニケーション能力、予期せぬ問題の発生に対して対処方法を考え抜く力、メンバーの信頼性を磨いていくことの重要性等を理解し、今後の大学における知の練磨や、やがて始まる就職活動に生かしていただければ学チャレの目的は十分果たすことができたと考えます。今回がゴールではなく、本企画の経験を今後に生かすことも重要です。

お陰さまで、今年度も学生チャレンジ企画を盛会裏に終了することができました。これも偏に学生を指導していただいた指導教授の先生方、また企画を積極的に受け入れていただいた行政機関、企業、各種団体のお陰と深く感謝しております。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

最後に本報告書をご覧いただき、学生チャレンジ企画がもつ意義を理解し、次年度へのチャレンジにつなげていただければうれしく思います。



ストップ・ザ・オレオレ詐欺

～お年寄りの安全を守ろう～

団体名

守山ゼミ 有志

政経学部 法律政治学科 3年
代表者 岩瀬 正直 他12名

実施スケジュール

平成27年8月1日～28年2月29日

8月10日	警視庁、都庁の方と打ち合わせ
8月19日	プロの寸劇のDVDを視聴する勉強会
8月24日	台本の作成
9月2日	台本完成
9月10日	全体で寸劇の練習
9月16日	マグネットシールのデザインの話し合い
9月30日	寸劇の練習、アンケートの作成
10月7日	寸劇の練習、小道具、衣装の目星をつける、マグネットシールデザイン、アンケート内容決定
10月17日	寸劇の練習、小道具、衣装の購入
10月22日	機器備品、マグネットシール購入
10月28日	寸劇練習、調布第二小学校へ挨拶
11月4日	実際にカメラで撮影しながら寸劇のリハーサル
11月8日	調布第二小学校にて1回目の寸劇実施
11月11日	国分寺用に台本を変え練習
11月18日	寸劇リハ、国分寺地域包括支援センターさんと寸劇の打ち合わせ
11月24日	国分寺市Lホールにて2回目の寸劇実施
12月2日	アンケートの集計
1月6日	動画編集作業
2月	DVD編集作成、配布予定

実施内容・成果

私たち守山ゼミ有志は、オレオレ詐欺の被害金額が毎年増えている状況を知り、何とか防ぐ方法はないかと考え、オレオレ詐欺の被害が多い地域での寸劇による防止活動を行うことにしました。まず、8月に警視庁、都庁の防犯担当の方を交えた打ち合わせを行って、被害が多い地域での寸劇を行う機会をいただきました。それから、9月中はオレオレ詐欺を勉強しながら、皆で台本を作成し、劇のための演技練習を重ねました。10月に入り、寸劇に来ていただいた方々にプレゼントとして、電話や冷蔵庫に貼ることが出来る「オレオレ詐欺対策マグネットシール」を用意しました。

11月8日、調布第二小学校での公演は、初の舞台だったため、皆かなり緊張していましたが、練習の甲斐もあり、最後まで無事に終えることができました。しかし、演者の話すスピード、間の取り方、カメラの撮り方等多くの課題が残りました。

11月24日、国分寺市での公演は、前回の反省も生かした良い寸劇ができたと思います。寸劇の内容はオレオレ詐欺の手口を紹介するだけでなく、対策方法もわかる内容とした改善版で好評をいただきました。

12月に入り、公演の際に集めたアンケートの結果を集計したところ、147名中41名が、「自宅にオレオレ詐欺の電話がかかってきた



大学の教室で寸劇の練習を重ねる。大きい声での発声が難しい。

ことがある」そして49名が、「親戚や知人にオレオレ詐欺の電話がかかってきたことがある」と回答があり、この犯罪との遭遇件数の多さを実感しました。また32名はオレオレ詐欺の対策が不十分であることが分かりました。寸劇の中で紹介する、オレオレ詐欺等警察の相談窓口#9110については、125名の方が「知らない」と回答したので、私たちの寸劇で、防止活動の周知に繋がってもらえればと思います。アンケートの感想では、「寸劇を見ることで実感としてのイメージができた。自分は大丈夫だと思っていたが、だまされてしまうかも?と思った。」「楽しい寸劇でした。若い私でも、再現がリアルでわかりやすかった



国分寺市Lホールでの寸劇の公演



実際の詐欺事件の記録を参考に台本を作成した

です。」「社会のために、今後も継続してほしいです。」等の意見をいただきました。

寸劇の様子は録画した動画をDVDとしてまとめ、オレオレ詐欺対策ツールとして配布する予定です。



DVDのプリントと報告書の作成

反省点など

今回の活動で一番苦労した点は、寸劇の演技についてです。演劇に関しては皆素人で、まず、台本を完璧に覚えるところから始まり、身振り手振りも考えなくてはいいけません、さらに覚えたことをちゃんと発声しなければいけません。お年寄りに向けて演技をするので、ゆっくり、はっきり、大きな声で演技をする必要があります。寸劇の練習は今回の活動で一番時間をかけました。

反省点は、寸劇中に一瞬ですがセリフが飛んでしまったことや、緊張でセリフを話すスピードが少し速くなってしまったことです。細かい点ですが、これらを直せば、もっといいものができると思います。また、今回は、調布と国分寺で行いましたが、キャンパスのある、八王子や茗荷谷でできなかったことが心残りです。DVDの編集もまだ完成させていないので、できるだけ早く完成させ、配布を行いたいと思います。

収支報告

支出総額 206,728円		奨励金 206,000円
内訳		
項目	小計	
寸劇備品代	老眼鏡	¥108
	サングラス、ネックレス	¥3,855
	ネックレス、指輪	¥2,808
	ライター、たばこ	¥460
	ブラカード製作用木材、ボンド	¥2,888
衣装代	被害者用ボトムス、カットソー	¥11,880
	犯人用帽子	¥1,480
	犯人用ジャケット	¥5,389
印刷関係	マグネットシール	¥20,588
文房具	ボールペン、マジック、マーカー	¥9,304
交通費	国分寺ターミナルビルパーキング	¥1,200
機器備品	防犯用電話自動応答録音アダプター	¥7,171
	三脚	¥6,145
	スピーカー	¥52,800
	スピーカーキャリングバッグ	¥6,000
	USBメモリー	¥914
	電池	¥5,572
	DVD	¥4,362
	SDカード	¥9,680
	ハンドマイク	¥6,561
	動画作成ソフト解説本	¥16,873
	DVD印刷用プリンター	¥24,690
お土産代	菓子折り	¥6,000
		合計 ¥206,728

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ <http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/index.html>



地域開拓お散歩プロジェクト

～文京からはじまる日本再発見の旅～

団体名 鄭偉ゼミナール
政経学部 経済学科 4年
代表者 八ツ田 幸伸 他25名

実施スケジュール

平成27年4月13日～12月31日

4月13日	ゼミ内でプロジェクト開始&会議
4月18日	メンバーで散歩コース探し(お散歩)
4月27日	一橋大学大学院のICS学生と会議、(協力メンバー)
5月1～4日	コース別にお散歩
5月18日	6コース確定・コーステーマ確定
7月25～31日	宣伝用動画の撮影
8月17日	ICS学生と準備段階報告会議
8月22日	一橋大学院の留学生とお散歩
9月10日	拓大生対象の初めてのお散歩会
10月4日	社会人基礎力グランプリ学内選考会に出場
10月10、11日	拓大生対象にお散歩会
10月19日	イベント型お散歩会の決定
11月2～14日	各コース担当がクイズ探し、クイズ決定
11月15日	ICSの協力者と一橋大学の留学生とデモンストレーション
11月21日	2・3年生対象のイベント型お散歩会
12月5日	国際交流愛好会と共催お散歩会
12月19日	観光型お散歩会のデモンストレーション
12月20日	拓殖大学大学院インドネシア人留学生とお散歩会

実施内容・成果

私達は、自分たちが日常を過ごす“文京区”についてもっと知って欲しい、散歩をしながら歴史や文化に触れて学ぶことで拓大生に文化的アイデンティティを持ち、様々なヒラメキを膨らませることのできる学生を目指してもらいたいと考えました。そのために“文京区の魅力を知らない”“社会的モラルの低下”の2つの問題改善を目的として今回の活動に取り組みました。

実施内容は鄭ゼミナールのメンバーが拓大生を対象に勧誘し、テーマの異なる散歩6コースのお散歩会を行うというものです。散歩に適した距離、時間、テーマを自ら歩いて情報収集しました。

それを基礎情報として、お散歩会の勧誘用チラシと動画を作成しました。6コース別に担当者がマップを作成し、チラシは活動風景の写真とコースの説明が書いてあるもの2種類、動画も実際の散歩風景を編集し、文京区の魅力を伝えるものとして、6コースを設定しました。

初めてのお散歩会は、長期休み中で勧誘に苦労したため、実施は9月の中旬になりました。とても暑期中、参加者から「こんな場所知らなかった」「海外に来ているみたい」といった感想を散歩中に聞くことが出来ました。

10月の後半になり、参加者から「ただ歩き、ただ話を聞く」、このお散歩会はただの観光で



まず始めたオリジナルマップの作成

はないのか。」という意見が挙がり、散歩をするというきっかけ作りだけでなく、更に“交流”“学習意欲”といったニーズを満足させることの出来るお散歩会を目指すことになりました。

そこで、参加者が散歩コース別でチームを組み、歩きながらクイズの答えを探す「文京区を学ぼう!クイズラリーの旅!」、散歩中に見つけた物や風景を撮る「知らない文京区を撮ろう!ワンショットグランプリ!」といったイベントやゲーム要素を、お散歩会に追加しました。

この試みを11月の2・3年生対象のお散歩会と12月の国際交流愛好会とお散歩会で導入しました。また、拓殖大学大学院のインドネシア人留学生とお散歩会ではこれまでの

観光スタイルのお散歩会を行いました。

散歩には1冊のマップ本を用意する予定でしたが、スマートフォン等モバイルを活用し、必要な資料をネットにアップロードしておくことで、散歩の参加者が歩きながらいつでも閲覧出来るようになりました。また、お散歩会動画を2作作成し、SNS発信しました。

この1年間のお散歩会に参加した学生からは“新たな交流が出来た”“日本の歴史をさらに学びたかった”などの感想を得、学習意欲の向上や今後の大学生活の充実へとつながる散歩活動が出来たと感じています。

私たちが留学生との英語を用いてのお散歩会にはじめは戸惑ってしまいましたが、グローバルコミュニケーションの“楽しさ”を感じたと共に、言語を含めたコミュニケーション能力の大切さを強く感じられた活動となりました。



12月、国際交流愛好会とお散歩会、東大前で記念写真



就活終わりに江戸川公園を下見するメンバー



12月のインドネシア留学生、絵馬に挑戦。英語でのコミュニケーションで説明

反省点など

今回のプロジェクトでは学生のお散歩会への勧誘に最も苦労しました。夏休み中のお散歩会では参加者が6名という回もあり、学生に文京区を知ってもらいたいという気持ちと学生の参加への意欲とのギャップに苦労しました。また宣伝不足とその方法にも反省を感じています。初めは紙媒体での勧誘を行いましたが、参加希望紙の回収が出来ないという事から始まりました。そのため、お散歩会の勧誘や参加希望はネット環境を使用することにしましたが、勧誘用のチラシを紙媒体にこだわりすぎ、結果予算を余分に使ってしまったことは反省点でした。

また、お散歩会では毎回参加してくれた学生に散歩の後にアンケートを行いました。文

京区を知る機会となったという意見が多くあり良かったと思っています。しかし、“休憩ポイントを増やしてほしい”“逆方向に歩くコースも欲しい”“留学生でも説明が良く分かるコースが欲しい”といった意見もあり、そこまでフォローできなかった事も反省点です。

私たちの最終目的は世界にもっと文京区を発信する事です。今年1年間の活動を4年生が中心となり、プロジェクトの土台作り、また多くの改善点を見つける事が出来ました。このプロジェクトは春夏秋冬、どんな季節でも楽しめます。現在は3年生が留学生を対象にお散歩会を計画しています。今後もさらに下の世代へと繋げ、世界へ文京区の魅力を発信していきたいと考えています。

収支報告

支出総額	142,131円	奨励金	140,000円
内訳			
項目	個数	小計	
動画作成機材費	ビデオカメラ	2台	¥66,631
	スタビライザー	2台	¥20,324
	動画編集ソフト (PowerDirector14 Ultra)		¥22,100
手作りマップ	色鉛筆セット クレヨンセット	各2つ	¥2,816
コピー代	お散歩会宣伝時のチラシ配布	カラー、白黒各150枚	¥9,500
	ゼミ説明会での宣伝チラシ配布	カラー、白黒各100枚	¥6,000
	お散歩会当日の配布資料 (マップ)	カラー両面3枚を60枚	¥9,000
	当日の要項等	白黒3ページを60枚	¥1,800
交通費	一橋大学の協力者3名の交通費 (会議と下見の時) 茗荷谷～御茶ノ水	¥990×4回	¥3,960
			合計 ¥142,131

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ <http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/index.html>

お散歩Map 6コース

- ◎後藤新平未完の夢
<https://www.dropbox.com/s/jbuulfqdw1prcx/%E5%BE%8C%E8%97%A4MP.jpg?dl=0>
- ◎文豪の息を感じる街
<https://www.dropbox.com/s/tam8uiswrq54qr2/%E6%96%87%E8%B1%AAMP.jpg?dl=0>
- ◎緑に包まれる都市空間
<https://www.dropbox.com/s/v5h0wcm2t8etcr1/%E7%B7%91MP.jpg?dl=0>
- ◎近代教育の来た道
<https://www.dropbox.com/s/w9126j2y70bfzex/%E8%BF%91%E4%BB%A3MP.JPG?dl=0>
- ◎新旧の越境
<https://www.dropbox.com/s/rced4iq0e413noa/%E6%96%B0%E6%97%A7MP.jpg?dl=0>
- ◎根千おもひで街道
<https://www.dropbox.com/s/a6eq5r9uc7mrgih/%E6%A0%B9%E5%8D%83MP.jpg?dl=0>





これからの「私たち」の話をしよう

～拓大生が選挙について思うこと～

団体名

甲斐ゼミナール

国際学部 国際学科 2年
代表者 酒井 翠 他14名

実施スケジュール

平成27年5月17日～10月31日

5月17日	前橋育英高等学校 担当教諭と打ち合わせ
5月26日	高校宛に企画書の提出
6月3、10、 17、24日	ゼミ内での勉強会
7月1日	アンケート制作開始
7月13～17日	アンケート実施
7月18日	公開シンポジウムへの参加
7月29日	アンケート集計・打ち合わせ
8月4、7、20、 21日	大学にて打ち合わせ・制作
8月29日	高校にて担当教諭と事前確認
8月30日	現地ホテルにて最終確認
8月31日	前橋育英高校にて出張授業
9月4、8日	大学で打ち合わせ
9月9日	ゼミ合宿にて活動報告
9月15日	事後アンケート実施
9月20日	事後アンケート集計
10月3日	社会人基礎力育成 グランプリへの参加

実施内容・成果

私たちは、昨年6月に選挙権が18歳へと引き下げになったことや、昨今の、特に若者の投票率の低さに問題を感じていました。そこで高校生へ選挙についての模擬授業を行い、楽しく学ぶことで関心を持ってもらうこと、そして教えることでの私たち自身の知識定着と2つの課題を目的としてこの活動に取り組みました。

活動の要となる8月31日の模擬授業に向け、前期そして夏休みを準備期間としました。模擬授業を行う高校の担当の教諭とは、代表者の母校であったこともあり、学生チャレンジ企画採択以前の5月中旬より密に連絡を重さね、5月26日に高校側へ企画書の提出、



勉強会の様子

29日には快諾を得ることができました。

授業の内容を決める前に、まず私たち自身の知識不足という問題があったため、6月中のゼミの時間で政治・選挙についての基礎を勉強しました。特に普段のゼミ活動で使っている「プレステップ政治学」を用いた、議会政治と政治システムについて重点を置いた授業計画を作成しました。そして7月から授業の方向性を決めるため、また高校生に少しでも親近感をもってもらうための授業前アンケートの制作にも取り組みました。

アンケートでは政治についての興味の有無や投票への意欲などの質問項目を作成し、各学年から無作為に5クラスずつ選び計15クラスに配布し回収。アンケートは7月13日から17日の期間で行い、7月29日にアンケート集計と同時に授業の内容や進め方を決める打ち合わせを行いました。

8月中の活動は打ち合わせを繰り返し、授業のリハーサルを行い、授業中に使用するパネルやパワーポイントを制作しました。そして、8月29日に前橋育英高校を訪問、当日使わせていただく教室や、機器の確認を行いました。

模擬授業当日。授業対象は、3年1組の生徒たちの協力を得て、彼らの7限目の時間で模擬授業を行うことになりました。内容がうまく伝わるか、理解してもらえるかの不安は多くありましたが、真剣な顔で聞いてくれ、感想に「楽しかった」、「分かり易かった」とレスポンスもあり、成果を実感することができました。

活動後は、9月9日・10日に行われたゼミ合宿の中で、模擬授業について報告を行いました。さらに私たちの活動を多くの人に知ってもらうため、10月3日に行われた社会人基礎力育成グランプリへ参加しました。活動報告では、先輩や先生からの評価とともに、更なる改善点の指摘もあり、今後の活動に生かしていきたいと考えています。

また社会人基礎力育成グランプリでは、自分たちの活動が未熟あったことを痛感させ



模擬授業中の様子

られました。そして、他の団体からとても良い刺激を受けることができたので、こちらからも今後の活動へと生かしたいと思います。

この二つの報告のために授業を受けてくれた、前橋育英高校の3年1組の生徒たちにアンケートを行いました。結果、「選挙に行こうと思う」という学生が19%増加し、「政治への印象が良くなった」という学生が52%増加しました。さらに、「選挙に行かないことへの危機感が持てた」という生徒が全体の92%を占めました。この結果を受け、私たちの活動に高校生が少しでも政治や選挙について興味を持ってくれたのならば、それが大きな成果だと考えています。



授業後に手作りパネルを持って

反省点など

今回の企画に深くかかわった者と言えることは、「組織的に動く難しさ」を痛感したことでした。

5月29日に前橋育英高校から快諾の返事を得て、8月31日の模擬授業開催までの94日間の時間を、企画の中心メンバーの間では、企画に関する準備の大筋は見えていたし、具体的なプランも練っていました。しかしこれは甲斐ゼミ全体で、組織として活動すると決めたこと。企画の中心メンバーの他に、協力してくれる甲斐ゼミメンバー全員で模擬授業についての情報を共有する必要があります。今回は、その情報の共有が難しかった。ほかのメンバーへの情報の連絡、情報への質問、疑問。そしてメンバー全員が「選挙」と「政治」についての知識を深める必要もありました。94日という期間があった。しかしメンバー全員で集まって活動できたのは、水曜5限のゼミの後のわずかな時間と本

番前日のみ。94日のうち、全員で練習をする時間や、勉強会に充てる時間がもっと必要だったと反省しています。

なぜ全員で取り組む時間の確保が難しかったのか。皆の個人としての時間から都合が合わなかったのは明白。しかし、今回の活動には、選挙権18歳引き下げに伴い若者に選挙教育をするという、活動の核があり、政治を学ぶ甲斐ゼミとして、取り組む意義がありました。それを皆が深く理解できていれば、もう少し精力的に活動に参加し、もっと精度を上げて、計画的に企画を進めることができたと思います。

今回痛感した、「組織的に動く難しさ」。これは今後社会に出てからもぶつかる課題です。リーダーシップとフォロワーシップについて、学ぶことの大切さを知ることができたことも大きな収穫と感じています。

収支報告

支出総額 83,714円		奨励金 73,000円	
内訳			
項目		個数	小計
交通費	高尾駅⇄前橋駅(往復)	10名	¥38,800
宿泊費		10名	¥42,500
郵送代	アンケートの郵送(簡易書留/速達)		¥710
	アンケートの郵送(速達)		¥400
	アンケート受け取り(代引き)		¥872
事務用品	封筒		¥108
	シール		¥108
	画用紙	2セット	¥216
		合計	¥83,714

ホームページ掲載

- 実施企画書▶<http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶<http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶<http://gakuchalle.jp/2015/index.html>



アンケート集計の様子



ラオスと南三陸を繋ぐ ～3年目の挑戦～

団体名

Mittapharb+CDS

国際学部 国際学科 2年
代表者 余語 和貴 他5名

実施スケジュール

平成27年4月1日～12月31日

8月4日	【ラオス】 成田空港発— タイ・スワンナプーム空港着 タイ・バンコク発(夜行バス)
8月5日	ラオス・バクセー着 バクセー発— ホアイフンタイ村着→村視察
8月6日	布買い付け 交流活動
8月7日	ホアイフンタイ村発—バクセー着 ラオス・バクセー発(夜行バス)
8月8日	タイ・バンコク着
8月9日	タイ・スワンナプーム空港発
8月10日	成田空港着
9月14～17日	チーム会議
9月18日	【南三陸】 東京駅発(夜行バス)
9月19日	仙台駅着 仙台駅発—南三陸着 南三陸ミシン工房訪問→ 縫製委託、ラオス訪問報告 南三陸視察
9月20日	南三陸発—仙台駅着 仙台駅発(夜行バス) 東京駅着
10月13日	【紅陵祭】 南三陸より商品到着
10月14、15日	紅陵祭準備→検品、袋詰め
10月16～18日	紅陵祭
11月27、28日	文京博覧会出席
10月3日、 12月5日	社会人基礎力グランプリ



ホアイフンタイ村・子供たちとの交流

実施内容・成果

私たちミッタパーブとデザイン学科のCDS(コミュニティ・デザイン・サポーターズ)は主に商品デザインとwebでの広報展開の面で強化を図るため、今回の企画をコラボレーションすることになりました。

5月から、毎週金曜日にミーティングを行い、布の買い付けの計画、また販売する商品について綿密に打ち合わせをおこないました。そして8月、メンバー4人でラオスのホアイフンタイ村へ布の買い付けに行きました。ホアイフンタイ村は1年ぶりの再訪でしたが村は目に見えて発展していました。昨年もお世話になったホームステイ先も増築されて大きくなり、以前にはなかった「後帯織」について説明した、英語や日本語のガイドブックも用意されていました。今回の買い付けは昨年のラオス語を話せず、上手くコミュニケーションが出来なかった反省から、今回は語学面での準備をしており、ラオス語で私たちの意見を伝え、色やデザイン、質などをチェックなど買い付けの交渉を自分たちで行うことができました。

ラオス・ホアイフンタイ村で買い付けた布は私たちの手で南三陸ミシン工房に届け、工房の方に布を見てもらってどのような製品が作れるかデザインを含め話し合いました。また工房を直接訪れた際には、南三陸の復興状況を見せてもらい、未だ仮設住宅に住む人の話も聞くことが出来、復興が進まない現状を目の当たりにしました。

商品買い付け後は10月上旬に社会人基礎力グランプリの学内選考会に出場しました。結果は昨年に引き続き優秀賞を受賞し、関東大会へ進むことが出来ました。残念ながら関東大会では賞を受賞することは出来ませんが、この受賞は私たちの活動を知ってもらった広報活動としても良い機会になりました。他大学の様々な活動を知ることができたことも良い体験となりました。引き続き10月中旬に文京キャンパスで行われた紅陵祭では完成した布製品を商品として初販売。たく



ホアイフンタイ村・買い付け。今年は自分たちで会話して交渉を行った

さんの人に手にとってもらいました。今回はブックカバーやポーチ、ペンケースを販売しましたが、会場が文京キャンパスという好立地のため昨年以上の売り上げを達成することが出来ました。11月には文京区で毎年開催される文京博覧会に拓殖大学の活動紹介のひとつとして参加。来場された方たちに販売させていただきました。以上が私たちの今回の活動となります。



mittapharb+CDSメンバーでの紅陵祭・販売風景



今回販売した商品

ポーチ	¥1,800	巾着 大	¥1,500
ペンケース	¥1,600	巾着 中	¥1,300
ブックカバー	¥1,500	巾着 小	¥1,000

先日、来年度のためにホアイフンタイ村まで布の買い付けに行ってきました。定番人気の明るい感じの布や落ち着いた雰囲気の布など様々な仕入れました。今回買い付けた布を使った商品は、紅陵祭などのイベントで販売する予定です。ご期待ください。

反省点など

ラオス・ホアイフンタイ村で買い付けた布の数を減らしたために、商品の数が減ってしまい、文京博覧会での販売の際に在庫を切らせたものがあったことが反省点です。そのため次回は予備在庫を含め、多くの布を用意できるように準備しようと考えています。

また、今回はCDSとコラボレーションをしての活動でしたが、初めてのコラボレーションのため行き違いもあり、商品のデザインやwebを使った広報などもっと密接に話し合い、協力しあえ

ばより良い活動になったらと思います。今回の活動での課題も踏まえて、来年も私たちミッタパーブの活動は続けます。次回はより多くの人に私たちの活動を知ってもらうために広報活動の強化と、ホアイフンタイ村だけでなく、南三陸の現状にスポットをあてた活動を検討しています。5年の時間が経ち、震災の記憶が風化しつつある今、なお復興の進まない被災地の現状を伝えるスタディ・ツアーなど、町とのつながりを強くする活動ができればと考えています。

収支報告

支出総額	230,108円	奨励金	230,000円
内訳			
	項目	個数	小計
【タイ】	100,000円換金		
	ポケットWi-Fiレンタル代		13,328円
	国内移動費	4名分	6,500円
	バンコク→ラオス・バクセー(夜行バス)	4名分	4,000円
【ラオス】	20,000円換金		
	国内移動費	4名分	1,460,000円
	バクセー→タイ・バンコク(夜行バス)	4名分	1,000,000円
	布代		890,000円
【南三陸】	ホームステイ	4名分	250,000円
	ゲストハウス	2部屋	140,000円
	ホームステイ先へのお土産代		2,274円
	東京→仙台(往復夜行バス)	4名分	28,800円
【紅陵祭】	志津川駅→仙台駅	4名分	6,160円
	レンタカー代(謝礼金込)		15,000円
	商品加工費(振込み手数料込)		23,371円
	商品タグの布代		638円
【文京博覧会】	商品タグの布郵送料		540円
	アコムレンタル		9,720円
	商品タグの紙代		397円
	商品包装袋代		648円
【その他】	商品レイアウト物品代		1,868円
	金庫代		216円
	その他物品代		2,526円
	チラシコピー代		3,000円
【写真印刷代】	写真印刷代		1,090円
	物品代		532円
		合計	230,108円

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ <http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/index.html>



拓殖大学をアロマで ブランディングするプロジェクト

団体名

情報表現演習チーム拓香(TAKKA)

工学部 デザイン学科 2年
代表者 阿部 明日香 他3名

実施スケジュール

平成27年5月2日～平成28年1月26日

5月～7月	情報表現演習の授業で活動についての話し合い
9月15日	材料購入
10月7、8、14日	八王子国際キャンパスでアンケート調査
10月16～18日	紅陵祭でアンケート調査
11月28日	文京博覧会 参加
1月19、20日	香りの調合
1月21、22、25、26日	「拓殖大学の香り(「スイートオレンジ」と「ベルガモット」を1:1の配合)」をそれぞれのキャンパスで提供

実施内容・成果

“拓殖大学の香り”を作るため、私たちはまずアンケートを利用した調査を実施しました。授業やゼミの時間、または昼休みといった時間での短い時間での調査でしたが、学生だけでなく職員や先生方の協力も得て、香りについてのサンプルをたくさん集めることができました。特に文京キャンパスの調査では紅陵祭で調査ブースを設けたことで大学関係者以外の方からもアンケートに協力してもらうことができ、思った以上に“拓殖大学の香り”について関心をもってもらえたことに嬉しく思いました。

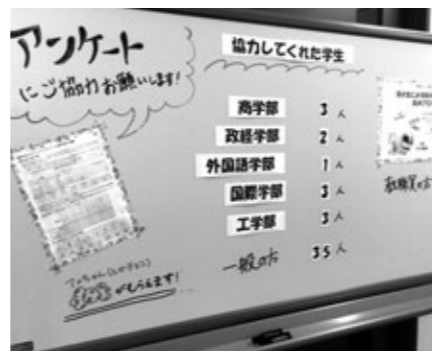
集まったアンケート結果に基づいて、文京、八王子国際キャンパスのそれぞれに適した香りのイメージをまとめました。

アンケートの結果は柑橘系の香りが上位を占めていたので、それをイメージに合わせながら少しずつ調合を重ねました。調合作業はアロマに詳しい先生に協力してもらいました。

その後も計画通りには活動が進まず、予定は大幅に遅れましたが1月に八王子国際キャンパス、文京キャンパスにそれぞれ1台ずつ学生の多い場所を選んでアロマディフューザー



15種類の香りを用意し、アンケート調査を行いました。(10月7日～18日)



紅陵祭でアンケート調査を実施しました。(10月16～18日)

を設置して香りの散布を行いました。計画では10分間の休み時間に香り気分転換を、という企画でしたが、実際は八王子国際キャンパスでは工学部棟事務室前、文京キャンパスではE館学生ホールの2箇所のみでの提供となってしまいました。それでもこの香りを嗅いだ学生は拓殖大学をイメージするとともにリフレッシュできたのではないかと思います。学生以外の来校者にも拓大の雰囲気やおもてなしの心を感じてもらえたと思います。苦勞しましたが、香りという嗅覚に訴えるブランドイメージを高めるという新しい試みを達成することができたと手応えを感じています。

ブランディングアロマという企画はプロジェクト学習の課題としてのスタートでしたが、実際に計画を進めることの難しさ、ブランドを作ることの大変さを実感することができ、私たちにとっても、良い体験となりました。



八王子国際キャンパスでは、工学部棟の1F事務室の前で「拓殖大学の香り」を提供しました。(1月22、23、25、26日)



文京キャンパスでは学生ホールで「拓殖大学の香り」を提供しました。(1月22、25、26日)

反省点など

メンバーとの協力がうまくいかず、活動が計画通りに進まなかったことが一番の反省点です。特に途中でメンバーの変更が伴ったために活動のスタート自体大きく遅れてしまいました。

最終的に4人という少数での活動になりましたが、それぞれ意見を出し合い分担を決めて作業を進め、しっかりと活動を進めることができました。

このプロジェクトを通して、たくさんの学生・教職員・来校者の方から「拓殖大学をイメージする香り」についての意見やアドバイスをいただくことができました。拓殖大学のイメージ

カラーである「オレンジ」はそのまま香りにも反映されて柑橘系の香りがアンケートでも上位を占めました。「大学の香りを作る」という試みは今までにない挑戦で不安もありましたが、挑戦した甲斐があったと思います。今後の活動としてはこのプロジェクトで制作した香りをもっと多くの学生に知ってもらうために、2020 NEW ORANGE PROJECTの女子学生満足度向上プロジェクトとして立ち上がった「OMOTENASHI T-girls」の活動で継続して活用し、さらに大学のブランド価値の向上に努力するつもりです。

収支報告

支出総額 177,298円 奨励金 175,000円

内訳		個数	小計
交通費	紅陵祭への移動費(茗荷谷駅まで)	4名	¥22,780
	文京博覧会への移動費(後楽園駅まで)	4名	¥9,200
購入費	エッセンシャルオイル 10ml	16本	¥48,708
	ディフューザー	2台	¥19,440
	遮光瓶 10ml	9本	¥2,427
	ミニ・ガラススポイト	7本	¥910
	無水エタノール	1本	¥1,296
	エッセンシャルオイル 50ml	5本	¥23,900
	エッセンシャルオイル 100ml	5本	¥38,880
	遮光瓶 30ml	5本	¥1,890
	電子天秤	1台	¥3,024
	組立式ワゴン・キャスター付	1台	¥1,800
事務用品	マグネットシート	2個	¥216
	クリアポケット	2個	¥216
	スーツケースベルト	1個	¥108
	クリップボード	4個	¥432
	バスケット	1個	¥108
	ポスターコピー代		¥480
	アメ(アンケート用)	5袋	¥886
	POPパネル		¥597
			合計 ¥177,298

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ <http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/index.html>



国際学部の学生からアンケート調査にご協力いただきました。(10月7、8、14日)



ニュージェネレーションポスター(NGP) ～見て触れて10分休みで気分転換させるデザイン～

団体名

情報表現演習チーム「NG」

工学部 デザイン学科 2年
代表者 吉田 勇武 他4名

実施スケジュール

平成27年7月1日～平成28年2月14日

7月16日	文京キャンパスを調査
8月11日	新宿で打ち合わせ
9月1日	新宿で打ち合わせ
9月6日	新宿で打ち合わせ
9月12日	新宿で打ち合わせ
9月17日	八王子国際キャンパスで打ち合わせ
9月24日	八王子国際キャンパスで学生への聞き取り取材
10月15日	NGP貼り出し
11月27、28日	文博に出展
1月21日	NGP貼り出し

実施内容・成果

7月16日から活動をスタートし、まずなじみの薄い文京キャンパスから実施調査を行いました。調査の内容としてはポスターを展示する場所の確認、人通りや学生が集まりやすい場所の調査です。この調査により、八王子国際キャンパス・文京キャンパスとも、学生ホールや学食が最も学生が集まる場所であるため、まずはこの場所をポスターの掲示ポイントとして決めました。そこから夏期休暇期間を利用して、集中してメンバーでNGPのデザイン案を考え、話し合いを重ねた結果最初の試作品が完成しました。まずは試作品でアンケートを取り、また問題点が出てきたら修正を重ねることにしました。話し合いを何度も何度も繰り返して試作品を作り続け、9月17日の八王子国際キャンパスでの打ち合わせで「ありきたりな一般的ポスター」にならない、現在のNGPの形が決まりました。9月24日に行った学生への取材で学生たちから多くのアイデアやNGP



9月に学生ホール(八王子国際)で行った取材時のインタビュー

の問題点、気分転換についてなど意見や感想を得ることが出来、それをフィードバックして10月15日に新たに完成したNGPを展示しました。その日は紅陵祭で学生だけでなく来場した多くの一般の方に楽しんでもらい、意見を



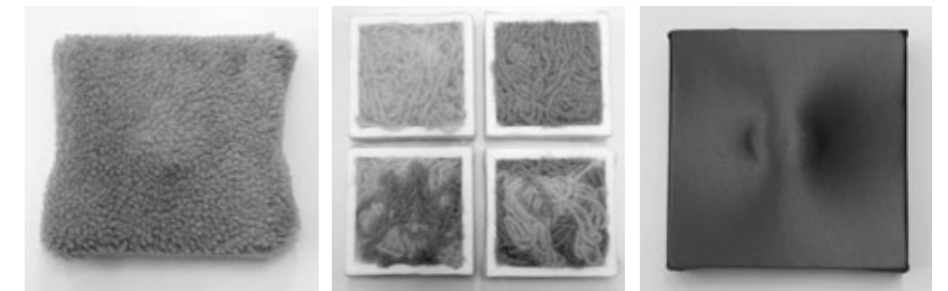
10月に学食(文京)に展示したNGP

いただきました。11月27、28日には文京区で開催される文京博覧会にも展示させていただきました。今回の企画で学んだことをNGPのアイデアに生かし、さらに14点NGPを作成し、成果物として提出しました。

反省点など

苦労したのは、やはりNGP制作とスケジュール合わせでした。特に文京博覧会での提出締め切りなどスケジュールは管理も大変でした。メンバーと打ち合わせをしようにも日にちがなかなか合わず、合ったとしても遅刻す

る者や欠席者までいて企画が進められず苦労しました。今回のNGPで身につけた技術や知識を利用することで、メンバーそれぞれがこれからのデザイン活動に生かしていこうと考えています。



フェイクムートン素材で“柔らかい”イメージを表現。中央に球状のものを入れて触り心地をよくしています

ふわふわした素材を使って夢をイメージ。色を変えたり混ぜたりと変化を付けた連作

中央の突起物に触れたくなるように、立体感の出る素材を使ったNGP

収支報告

支出総額 180,900円 奨励金 175,000円

内訳		個数	小計
交通費	新宿に5名で打ち合わせ 新宿駅まで	5名×4回	¥22,000
	茗荷谷に5名で調査、張り出し 茗荷谷駅まで	5名×2回	¥17,600
	茗荷谷に1名で張り出し 茗荷谷駅まで	1名×1回	¥1,760
購入費	発泡スチロール 箱		¥42,860
	布		¥13,300
印刷	パンフレット		¥43,200
	ボード		¥4,300
事務用品	カッター、ボンド、やすり、テープ		¥35,880

合計 ¥180,900

ホームページ掲載

- 実施企画書▶ <http://gakuchalle.jp/2015/kikakusho.html>
- 中間レポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/center-report.html>
- 学チャレレポート▶ <http://gakuchalle.jp/2015/index.html>



2月の学生ホール(八王子国際)で打ち合わせ及びNGP制作



1月には4点の文京キャンパスにNGPを追加展示を行った